

東北電カグループの環境マネジメント推進

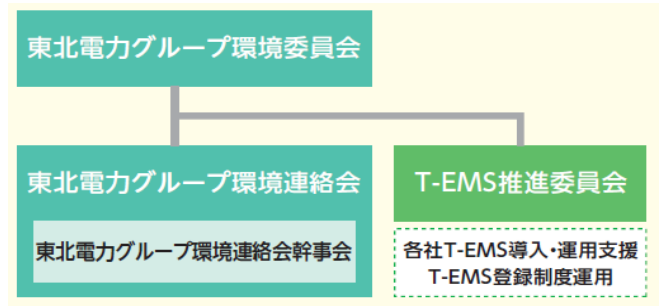
東北電カグループでは、環境負荷の低減に努めるべく、グループ全体で環境経営を推進しています。

東北電カグループの環境経営

東北電カグループでは、27社による「東北電カグループ環境委員会」を設立し、一体となった環境活動の方針、計画の立案、実績評価・見直しを行い、環境影響の継続的改善に努めています。

また、ISO14001に準じた独自の環境マネジメントシステムである、「東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）」の導入・運用支援を行い、グループ全体で環境経営を推進しています。

◆ 東北電カグループの環境管理体制



東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）

東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）とは、当社企業グループ全体の環境活動のレベルアップを目的として、事務部門中心のグループ企業でも取り組みやすいように内容をアレンジした独自の環境マネジメントシステムです。

環境マネジメントシステムの国際的な規格であるISO14001や、環境省のエコアクション21を参考に策定した「T-EMS ガイドライン」に基づき、導入・構築を行っています。

T-EMS 認証取得企業に対しては、当社企業グループ内のISO14001審査員や内部監査員の有資格者が、環境への取り組み状況の審査を行い、東北電カグループ環境委員会の内部組織として設置した「T-EMS 推進委員会」へ報告のうえ、評価しています。T-EMS 認証の有効期限は、登録日を起点として3年とし、初回登録以降は毎年、維持審査または更新審査を行っています。

T-EMS は、所定の要求事項により構成されており、計画(Plan)、計画の実施(Do)、取り組み状況の確認・評価(Check)および全体の評価と見直し(Action)のPDCA サイクルを繰り返すことによって、環境への取り組みの継続的改善を図っています。

◆ T-EMS認証取得企業 計20社（2015年9月末時点）

- 東北発電工業（株）
- 北日本電線サービス（株）
- 東北緑化環境保全（株）
- 東北計器工業（株）
- （株）エルタス東北
- 東北ポートサービス（株）
- （株）東日本テクノサーベイ
- 東北エアサービス（株）
- 東北エネルギーサービス（株）
- （株）トークス
- 荒川水力電気（株）
- 東北インテリジェント通信（株）
- 会津碍子（株）
- 東北ポール（株）
- 東北天然ガス（株）
- 東日本興業（株）
- TDGビジネスサポート（株）
- （株）東北開発コンサルタント
- 東北インフォメーション・システムズ（株）
- 北日本電線（株）

（順不同）

◆ 各種環境マネジメントシステムとの比較

	東北電カグループEMSガイドライン	ISO14001	エコアクション21（EA21）
策定機関	東北電カグループ環境委員会	ISO（国際標準化機構）	環境省
対象	東北電カグループ各社	あらゆる種類・規模の組織	中小企業
要求事項	Step1は16項目、Step2およびStep3は29項目	59項目の要求事項	ISO14001に準じた33項目
環境負荷	環境指標（EA21をベースに構築）	各自で把握方法を構築	自己チェックシート（温室効果ガスを把握）
環境報告書	企業グループ全体で公表	各自で判断し作成する（凡例なし）	環境報告書の作成・公表（凡例あり）
特徴	EA21に準じながらさらに取り組みやすい内容とし、レベルによりStep1、Step2、Step3を設定している。	EMSの骨格のみ要求しているため、独自にルールを社内構築する必要がある。	ISOの求める骨組みに肉付け（具体的なルール）を揭示し、取り組みやすい内容としている。一方、環境報告書の作成・公表の義務や自己チェックシート調査項目が多い。

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電力環境マネジメントシステム（T-EMS）認証取得企業の取り組み

株式会社エルタス東北

食の提供を通じた環境負荷低減の取り組み

株式会社エルタス東北は、東北電力企業グループの福利厚生事業をサポートする役割を担っており、「社員寮の運営・管理」「寮・社宅の建設・賃貸・修繕」「乗車券やホテル等の手配」などを行っています。

2010年度に、東北電カグループ環境マネジメントシステム(T-EMS)の認証を取得し、「積極的に、環境負荷の低減および環境保全・創造活動に努めること」と「地域社会とのパートナーシップで、環境と経済を調和・両立させながら持続可能な発展を目指すこと」を環境方針の基本的考え方に掲げ、オフィスの省エネ・省資源、ゴミの分別回収、グリーン商品購入など、地道な環境活動を実践しています。

2014年度からは、食品衛生管理の徹底による食中毒事故ゼロの継続を前提に、「必要最低限の食材購入と適切な消費期限管理によるゴミの減量」「使用済食用油の処理方法の工夫や洗剤の適量使用による排水の環境負荷の低減」「グリストラップ(油水分離槽)清掃に伴う汚泥や工所用廃材の適正処理」などに取り組み、成果を上げています。

また、環境先進企業の情報収集を図るため、他業種のオフィスを訪問見学・情報交換するなど、積極的に環境活動を実践しています。



環境負荷の低減に取り組みながら、「安心・安全・ぬくもりのある食の提供」に努めています。

(写真は、食品衛生管理と調理技術の向上を目的とした一流講師による研修の様子)

VOICE

東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）を通じて
企業グループが一体となった環境経営を目指しています

T-EMS審査リーダー 東北緑化環境保全株式会社 技術部 ISO担当部長 早川 俊郎



私は、企業グループが一体となった環境経営を目指すため、東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）の認証審査を担当しています。

T-EMS の認証審査では、第三者の立場から、私たち審査チームが各企業を訪問し、現場における環境活動の取り組み状況の確認や経営層へのインタビューなどを行い、環境活動のPDCA サイクルが構築、維持されているかを確認しています。

また、毎年度、T-EMS 認証企業を対象に、内部監査員研修も実施しており、各企業の環境マネジメントシステムの推進に向けた人材育成にも努めています。

今後も、T-EMS の認証審査を通じて、良好な環境活動事例を企業グループ各社へ情報提供、水平展開することで、企業グループ全体の環境経営の底上げを図っていきたく思います。



東北電カグループ環境マネジメントシステム（T-EMS）
内部監査員研修の様子

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電カグループ各社の環境への取り組み

株式会社ユアテック

Yurtec

「仙台うみの杜水族館」の電気設備、空調、配給設備をサポート

震災復興の象徴として、仙台うみの杜水族館（宮城県仙台市）が2015年7月にオープンしました。

この水族館の建設・設置・運営をする仙台水族館開発株式会社に株式会社ユアテックは出資しており、電気設備、空調・給排水設備を手掛けました。水槽の数は100基を超え、生物ごとに違う室内温度や水温が求められる中、空冷ヒートポンプ熱源機の導入により適正な温度管理のみならず、環境配慮も併せて達成することができました。

今後も、培ってきた技術力を発揮し、地域社会・お客さまの期待にお応えすることで、“ライフラインのトータルサポーター”としてのユアテックの使命を果たしてまいります。



2015年7月1日オープン「仙台うみの杜水族館」

会津碍子株式会社



会津碍子株式会社

焼成炉の更新によるCO₂排出量の低減

会津碍子株式会社では、碍子を製造する焼成炉について、連続式のトンネルキルン（燃料：軽油）からバッチ式のシャトルキルン（燃料：LPG）への移行を進めていました。2015年4月より本格稼働し、燃料の変更により約50%のCO₂排出量の低減を見込んでおります。

併せて、検査時に使用する試験品や品質規格外品については、路盤材や耐火レンガ等の材料として売却することで、産業廃棄物の発生量も抑制しています。

また、当社では、ゴーヤ、アサガオなどによる緑のカーテンを事務所入口付近に設置するなど、環境への取り組みを進めております。



導入されたシャトルキルン

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電カグループ各社の環境への取り組み

東日本興業株式会社



電力ホールのリニューアルオープン

東日本興業株式会社は、不動産事業、リース事業、保険事業、ホール事業を手掛けており、設備更新を計画する際には、環境負荷の低減を念頭に置いています。

環境面への配慮として2014年3月、電力ホールの耐震改修工事に合わせて、ホール内の全照明器具をLED化したことにより、電気使用量は改修工事前と比べ約8割の削減となりました。

東日本興業では、環境負荷の低減および環境保全という環境方針を掲げ、今後も職場での省エネはもとより、電力ビルや電力ホール等の設備更新の際には、環境に配慮した設備を導入してまいります。



LED化された電力ホール

東北計器工業株式会社



製造ライン省エネルギー化

東北計器工業株式会社は、電力量計、安全ブレーカーなどの計器類を中心として「製造、配送、撤去計器類の受け入れ、修理、再配送」という計器サプライ・チェーン・マネジメントを担っています。

東北計器工業株式会社で製造している電力量計は、誘導形メーターからスマートメーターへの切り替え時期であり、生産に必要なラインは、既存の建屋を活用し、部品供給から次工程への受け渡し等、作業工程のムダを考慮したコンパクトなレイアウトとし、省エネルギーの実現を図りました。

その他に、2015年度からは、新たに廃却計器資源リサイクル事業の実施により、さらなる再資源化を図るなど、今後も環境への取り組みを積極的に推進してまいります。



スマートメーター製造ラインの様子

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電カグループ各社の環境への取り組み

東北天然ガス株式会社

ガスパイプラインのパトロールに併せた地域美化活動

東北天然ガス株式会社では、日本海と太平洋をつなぐ新潟・仙台間ガスパイプラインを中心に東北地域に天然ガスを供給しており、保安管理として、定期的にガスパイプラインのパトロールを行っています。

「環境との調和に配慮した事業活動を積極的に展開する」との環境方針の具体化の一環として、2014年度より、このパトロールに併せた地域美化活動を開始しています。

今後も、当社は、地球にやさしいクリーンなエネルギーである天然ガスを東北地域全域に普及拡大し、安定供給に努めながら、環境との調和に配慮した事業活動を積極的に展開してまいります。



パトロールに併せた地域美化活動の様子

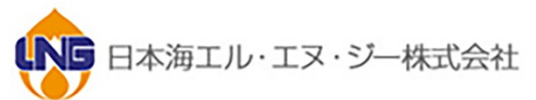
日本海エル・エヌ・ジー株式会社

地域との“つながり”を育む「つなぎ育む森づくり」

日本海エル・エヌ・ジー株式会社では、地域貢献活動の一環として、地域の環境保全などにつながる森づくり活動「つなぎ育む森づくり」に取り組んでいます。

本活動は、これまで30年以上にわたり事業を継続できたことへの感謝の気持ちを、形に残るもので地域へ恩返しすることを目的として、新潟県が推進する「にいがた森づくりサポート事業」を活用し、新潟県新発田市の滝谷森林公園において植林活動などを実施しているものです。

2015年6月に行った第9回目の活動では、社員やその家族、地元少年団など80名の参加者が、ノリウツギ、カンボク、エゴノキなどの苗を植樹しました。今後も、本活動などを通じて、地域の環境保全に貢献してまいります。

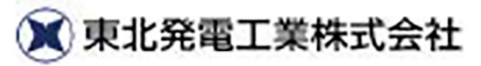


「つなぎ育む森づくり」の様子

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電カグループ各社の環境への取り組み

東北発電工業株式会社



「とうはつの森」里山整備活動～地域とともに～

東北発電工業株式会社では、宮城県が展開している「わたしたちの森づくり事業」に参加し、宮城県利府町の県有林を借用、命名権（ネーミングライツ）を取得し、社員の一体感・コミュニケーションを継続的に深めていく場とするため、当社のシンボルとして「とうはつの森」と名付け、2009年から社員と家族、OBの方々とともに植樹活動を展開しています。2015年4月には、第8回目の植樹・整備作業を実施しました。今回は、植樹・手入れに加え、湿地帯の木道整備や、子供達が大好きな「カブトムシ」の産卵場づくりに汗を流しました。

サツキで模ったとうはつの社章の近くに設置したベンチからは、満開の桜が鑑賞できます。

また、7月には、樹木の下草刈や枝打ち作業を行い、見違えるほど整備されました。

今後も、本活動を通じて、地域の方々が四季の花々を眺め、小鳥のさえずりに耳を傾け、楽しく散策できる「森」を目指して社員の環境意識を高め、地域の環境保全に貢献してまいります。



カブトムシ養育場所作成



集合写真



草刈作業

東北電カグループの環境マネジメント推進

東北電カグループ各社の環境への取り組み

株式会社東北開発コンサルタント

環境に配慮した設計・技術の提供

株式会社東北開発コンサルタントは、「21世紀に役立つ提案型コンサルタント」を目指し、道路・河川等の土木分野、公園・地域開発等の都市計画分野、オフィスビル・再開発ビル等の建築分野において、調査、設計、監理の総合コンサルタントを行っており、すべての現場を確認し、環境に配慮した設計・技術を提供しています。

土木・建築設計においては、周辺の景観と調和した設計を行うことはもちろん、さらに環境全般に配慮した提案も行っています。一例としては、発電所構造物の塗装色を景観にマッチさせた提案、林道拡幅設計では大木を回避したルート選定の提案、消費エネルギーの低減や環境負荷の少ない建築設備設計の提案など、環境への配慮に心がけています。

当社はこれからも事業活動を通じて従業員一人ひとりが環境に対する意識啓発をはかり、省エネルギー・省資源の推進と環境保全への取り組みを考え、行動してまいります。



株式会社 東北開発コンサルタント



周辺景観に配慮した建物設計の例

東北緑化環境保全株式会社

東北地域の生産者の皆さまとともに、農畜製品の安全・安心をサポート



東北緑化環境保全株式会社は、東日本大震災に伴う東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故を受け、地域の皆さまより放射性物質対策に関する様々なご相談やお問合せを数多くいただいたことから、今まで培った放射線管理業務の経験とノウハウを活かした放射線（能）測定を実施してきました。

例えば、宮城県内では、肉用牛の全頭放射能検査や牧草等の検査、米や食品加工品の検査を実施しています。また、福島県南相馬市では、市内で生産された野菜の検査を実施し、生産者の皆さまとともに安全をお届けしています。

今後とも、東北地域に根差した企業として、地域の皆さまの安全・安心をサポートしてまいります。



肉用牛の放射能検査状況



簡易型放射性物質測定装置



サンプルチェンジャー付
ゲルマニウム半導体検出器